

第2章 浜松市の文化財の概要と特徴

1 浜松市の文化財の概要

平成17年（2005年）7月の広域合併により、合併した11市町村の指定文化財をすべて引き継いだ本市は、指定文化財の件数・総点数が全国でも有数の都市となった。本市では平成19年（2007年）4月の政令指定都市移行を契機に合併した市町村の指定文化財の内容を精査し、名称変更を含む台帳整備を行った。

合併後においても、国指定や県指定、市指定の文化財は増加している。国登録文化財についても、天竜浜名湖鉄道に関する鉄道施設や、方広寺の建造物など群としての登録が相次いだ。また、本市では平成28年度（2016年度）から、市独自に認定文化財制度を導入し、地域団体等からの推薦によって、地域に根差した文化財を抽出している。

認定文化財制度は、未指定の文化財を把握することにもつながっており、令和2年（2020年）4月現在、308件を文化財認定している。これらの制度によって、本市における文化財は、国や県及び市の指定文化財、国の登録文化財、市認定文化財といった項目に分かれ、その総数は800件を超えるまでに至っている。また、埋蔵文化財包蔵地は、市域全体で1,000か所を超えている。

令和2年（2020年）4月現在、本市における国指定文化財は29件、県指定文化財は79件、市指定文化財は326件を数える。これら指定文化財は、比較的多様な種別に分かれるが、無形文化財の指定はなく、国の伝統的建造物群や文化的景観の選定もない。国登録文化財は79件、市認定文化財は308件である。

未指定文化財については、文化財保護法で規定される文化財の6類型に加え、同類型に含まれないものも数多い。市認定文化財に関しては、伝統的建造物群や文化的景観の認定例があるほか、伝承地や伝統的生活文化などの推薦も受け付けている。

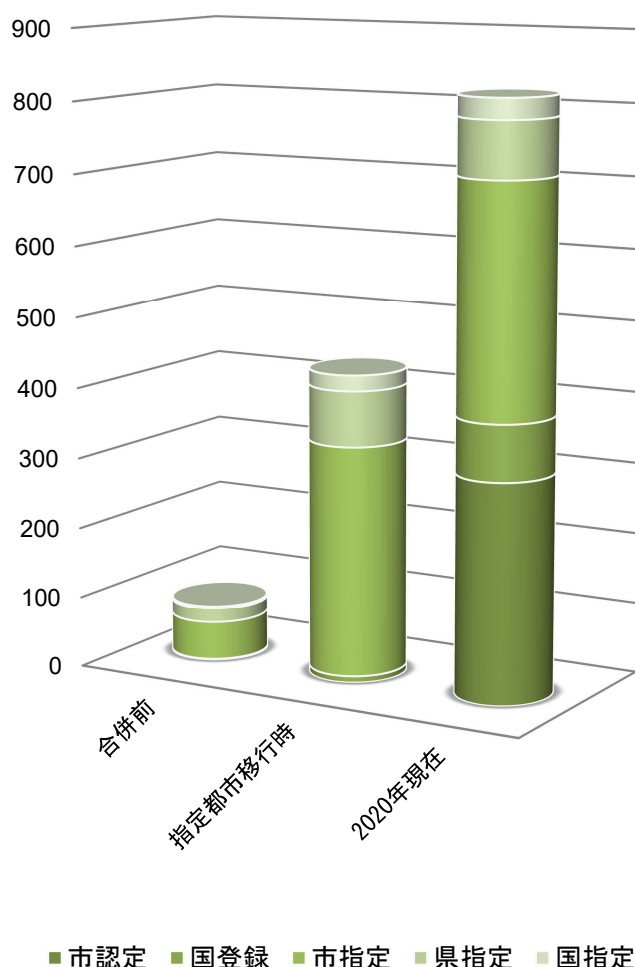


図2-1 浜松市における指定等文化財数の推移

件数・総点数とも豊富な文化財を有する本市ではあるが、現在の市内7区別にその分布をみると、北区、天竜区という浜松市北半の中山間地域を含む区域に市内の3分の2の文化財が集中し、浜北区以南の市域南半と対比される（図2-2）。これは、市南部域が第二次世界大戦末期（昭和19年～20年（1944年～1945年））に連合軍からの爆撃や射撃を受けて大きく被災し、文化財に多大な被害が生じたことが影響している。加えて、都市部を中心に、戦後の開発が急速に進んだことも、文化財が滅失した一因といえるだろう。一方、平成28年度（2016年度）から導入した市の認定文化財では、指定文化財のような地域差は認められない。認定制度は地域団体等からの推薦によるものであることから、現在の人口比率とも関連があるものと考えられる。

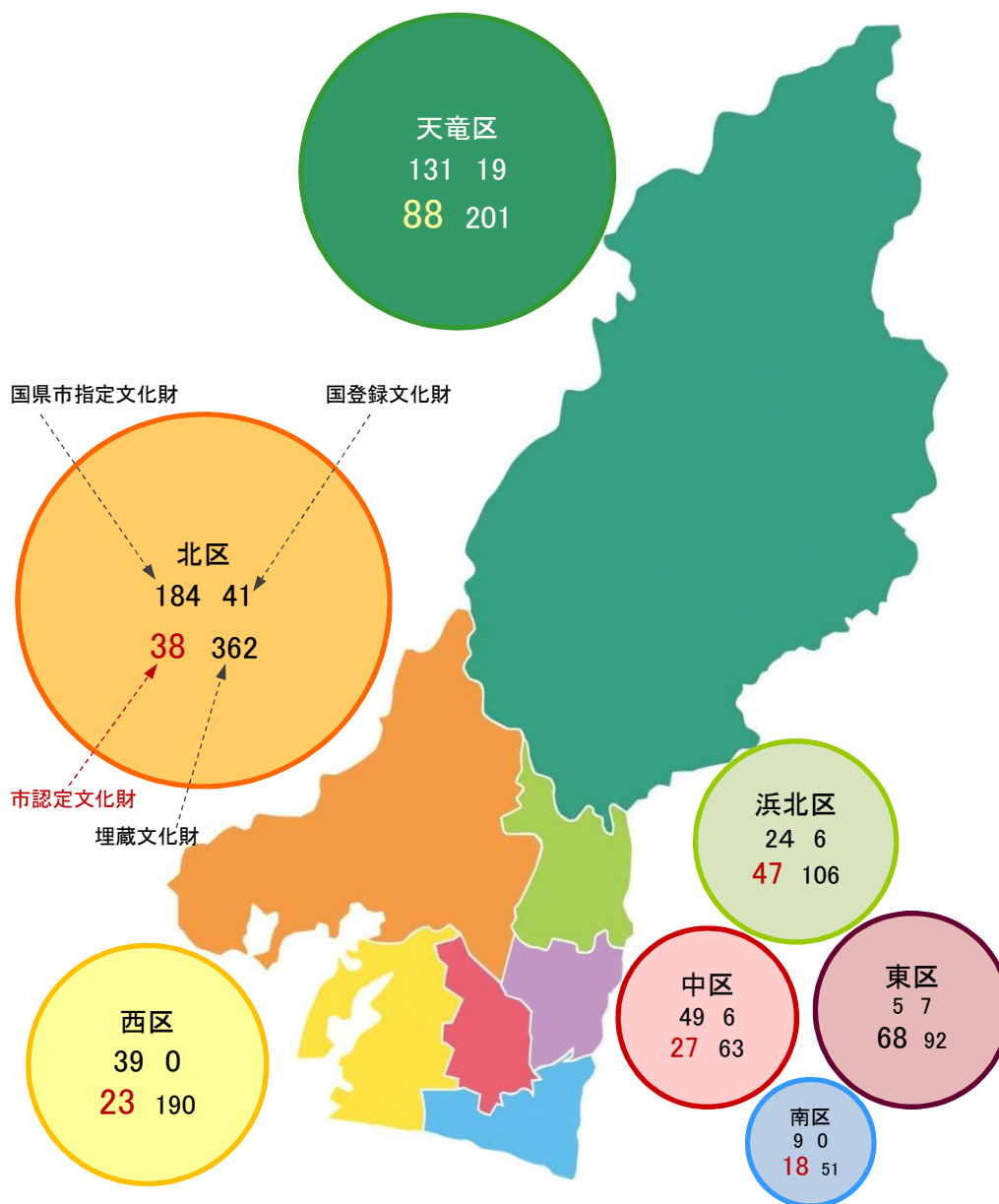


図2-2 浜松市における文化財の分布

表 2-1 各区別の指定文化財等件数

令和 2 年 4 月 1 日現在

種 別		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	重複	小計	合計	
有形文化財	建造物	国指定			1	4				5	148	
		県指定				3		1		4		
		市指定	3	1	2		5	3	7	21		
		国登録 市認定	6 3	7 8		1	41 2	6 4	19 21	79 39		
	絵 画	国指定					1			1	50	
		県指定	1				5			6		
		市指定					11	1	10	22		
		市認定		6	3	2	3	2	5	21		
	彫 刻	国指定					3	1		4	100	
		県指定		1	2	1	8			12		
市指定		2		5	3	32	2	10	54			
市認定			8	1	1	5	14	1	30			
工芸品	国指定	3				2		3	8	53		
	県指定	3		2	1	1		1	8			
	市指定	3		2		14		14	33			
	市認定			1	3				4			
書 跡	国指定								0	32		
	県指定							1	1			
	市指定	11				10	1	6	28			
	市認定	1	2						3			
典 籍	国指定					1			1	9		
	県指定	1							1			
	市指定	1				3			4			
	市認定		2	1					3			
古文書	国指定					1			1	28		
	県指定							1	1			
	市指定	3	1	5		3	2	5	19			
	市認定		3	1			3		7			
考古資料	国指定								0	16		
	県指定	4				2	1		7			
	市指定	1		2		6			9			
	市認定								0			
歴史資料	国指定								0	39		
	県指定								0			
	市指定	1				4		1	6			
	市認定	7	10		4		3	9	33			
無形文化財	国指定								0	0		
	県指定								0			
	市指定								0			
	市認定								0			
民俗文化財	有形民俗文化財	国指定								0	71	
		県指定			1		1		3	5		
		市指定					3	1	6	10		
		市認定	4	16	8	4	2	10	13	-1		56
無形民俗文化財	国指定					1		2	-1	2	45	
	県指定			1		2		2		5		
	市指定	1				1	1	2	-1	4		
	市認定	1	7	5	1	7	1	12		34		
記念物	史跡	国指定	1				1		2	4	125	
		県指定	1				4	2	2	9		
		市指定	4	1	10	1	24	6	22	-1		67
		市認定	9	4	3	1	10	10	8			45
	名勝	国指定					1			1	17	
		県指定			1		5			-1		5
		市指定	1		1				3	-1		4
		市認定							7			7
天然記念物	国指定						1	1	2	67		
	県指定	2	1			3		9	15			
	市指定	2		4	3	19	2	17	-2		45	
	市認定	1				1		3			5	
文化的景観		市認定				2		3		5		
伝統的建造物群		市認定		1				1		2		
伝承地		市認定	1	1		1	5			8		
近代化遺産		市認定					1			4		
伝統的生活文化		市認定						2		2		
内訳	国指定	4	0	1	0	15	2	8	-1	29		
	県指定	12	2	7	2	34	3	20	-1	79		
	市指定	33	3	31	7	135	19	103	-5	326		
指定文化財合計		49	5	39	9	184	24	131	-7	434		
内訳	国登録有形文化財	6	7	0	0	41	6	19		79		
	国選択無形民俗文化財	0	0	0	0	2	0	2		4		
	県選択無形民俗文化財	0	0	0	0	0	0	3		3		
	市認定文化財	27	68	23	18	38	47	88	-1	308		
	埋蔵文化財包蔵地	63	92	190	51	362	106	201		1065		
文化財数合計		145	172	252	78	627	183	444	-8	2327		
重複等	国無形民俗：遠江のひよんどりとおくない(北・天竜) 県名勝：浜名湖(西・北) 市無形民俗：遠州大念仏(中・浜北) 市史跡：東大山一里塚(北・西) 市名勝：佐鳴湖(中・西) 市天然記念物：ギフチョウ(北・天竜) ウミガメ(南・西) 市認定(有形民俗)：榎ヶ浦三十三観音霊場(東・浜北) 市認定(絵画・書跡)：建鐘ゆかりの書画(絵画／書跡は絵画として表記)											

2 浜松市の文化財の特徴

(1) 概要

本市における国及び県の指定文化財は、総数 108 件を数える。このうち、個人所有等の有形文化財（刀剣等）を除き、公開活用が図れる指定文化財の件数は 99 件ある（表 2-2・3）。本市の文化財の特徴を、これら国及び県の指定文化財を中心に示す。

本市における文化財を自然と歴史・文化に分けて概観する。自然に関連する文化財は、天然記念物のうち、寺社と関連するものを除いたものと捉える。自然に関連する国・県の指定文化財は、動植物、地質など 11 件（表 2-2・3 に示す文化財の件数、以下同じ）ある。また、歴史に関連する文化財を関連が高い類型ごとに通史的に取り上げると、原始古代に関連する文化財（14 件）、古代末から中世・近世にかけての寺社関連文化財（47 件）、中世の城跡関連文化財（史跡、5 件）、近世の街道関連文化財（1 件）、近世の庄屋・民家関連文化財（2 件）、近世の国学関連文化財（2 件）、中世から近世に起源が求められる民俗文化財（12 件）、近代の文化財（1 件）、などに整理できる（この他は 2 件）。

なお、寺社関連文化財（47 件）については、寺院関連文化財と神社関連文化財、及び双方に關係する文化財に分けられる。寺院関連文化財については、真言宗関連文化財（12 件）、臨済宗関連文化財（12 件）、黄檗宗関連文化財（5 件）が多い（その他宗派關係文化財は 2 件）。神社に関連する文化財は 10 件ある。寺院と神社双方に関連する文化財としては、鰐口（1 件）や寺社境内の天然記念物（7 件）が挙げられる。

以下、これらの区分をもとに本市における文化財の特徴を紹介する。

(2) 文化財の特徴

自然に関連する文化財 本市北部の山間域にはカモシカ（国特別天然記念物）が生息し、南部の海岸砂丘にはアカウミガメ（市天然記念物）が産卵のために毎年上陸する。また、市の南西部には浜名湖（県名勝）があり、入り組んだ湖岸を持つ風景が広がる。北浜の大カヤノキ（浜北区、国天然記念物）や京丸のアカヤシオ及びシロヤシオ群生地（天竜区、国天然記念物）、シブカワツツジ群落（北区、県天然記念物）等の巨木や群落は本市の広域に認められるほか、市内を縦断する中央構造線沿いには化石や鉱物産地が連続し、石灰岩地帯では旧石器時代人骨（浜北人）も出土している。

原始古代に関連する文化財 蜷塚遺跡（中区、国史跡）は縄文時代後期から晩期にかけての貝塚を伴う集落遺跡として東海地方でも有数の規模をもつ。続く弥生時代を象徴する考古資料としては、銅鐸が知られる。浜名湖北岸域は全国的にみても銅鐸が集中する地域として著名であり、この地域で出土した銅鐸のうち本市では 7 口（県有形もしくは市有形）を所有する。いずれも 1～2 世紀の弥生時代後期のものである。銅鐸の埋納状態が確認できた滝峰才四郎谷遺跡（北区、県史跡）のような事例もある。



図 2-3 ホウジ峠の中央構造線

本市では、国や県、市の史跡に指定されている古墳（古墳群を含む）が 22 例ある。市域内にある同一

種の史跡のなかでは古墳が最も多い（次点は城跡で16例）。前方後円（方）墳は市内最大の光明山古墳（天竜区、国史跡）をはじめ、8基が史跡に指定されている。馬場平古墳（北区、市史跡）や赤門上古墳（浜北区、県史跡）からの出土品（いずれも県有形）は、4世紀の地方首長墓の副葬品の典型例として知られる。5世紀に関しては、渡来人の墳墓とみられる二本ヶ谷積石塚群（浜北区、県史跡）や、神マツリを行った涪伊神社境内遺跡（天白磐座遺跡、北区、県史跡）など個性的な古墳群、遺跡も知られる。6～7世紀の横穴式石室を持つ中小の円墳（市史跡）は、市の広範にみられる。また、6世紀の精巧な工芸品として、鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀（中区、県有形）がある。

本市における飛鳥・奈良時代の遺跡として、伊場遺跡が著名である。伊場遺跡から出土した木簡や墨書土器などの地方官衙資料（中区、県有形）は、郡家とその周辺の具体像を探る日本でも有数の資料群である。

寺院関連文化財 本市における国・県指定の有形文化財や名勝を有する寺院として11か寺が挙げられる。区ごとの内訳は、東区1、北区8、浜北区1、天竜区1であり、北区（細江町、引佐町、三ヶ日町）の数が突出している。名勝庭園を有する寺院（5か寺）も北区に集中する。これらの寺院は、主に平安時代から鎌倉時代に中心がある真言宗、室町時代から江戸時代に中心がある臨済宗、江戸時代の黄檗宗等に分けられ、創建年代や宗派ごとに関連する文化財の特徴がみられる。

真言宗関連文化財 摩訶耶寺（北区）は、寺伝によると奈良時代に行基が開創したと伝わる古刹であり、平安時代末に現在地に移転したという。現在は真言宗に属する。同寺が有する仏像として、木造千手観音立像（平安時代、国重文）、木造阿弥陀如来坐像、木造金剛力士立像（いずれも平安時代、県有形）、木造不動明王立像（鎌倉時代、国重文）が挙げられ、指定文化財の彫刻群としては市内随一の量を誇る。摩訶耶寺庭園（県名勝）は、築山と石組みに池泉が組み合う簡素な造りである。

同じく行基が神亀2年（725年）に開創したと伝わる岩水寺（浜北区）も、現在は真言宗に属する。同寺の木造地藏菩薩立像（鎌倉時代、国重文）は安産、子授け祈願の信仰を広く集めている。

大福寺（北区）も摩訶耶寺と並ぶ真言宗寺院である。寺伝では、貞観17年（875年）の開創といわれ、承元元年（1207年）に現在地に移ったという。同寺が所有する指定文化財は多彩である。絹本着色普賢十羅刹女像（鎌倉時代、国重文）や金銅装髮（修験者が背負った物入れ、室町時代、国重文）は、本市の指定文化財の中で最も古い時期（明治33年（1900年））に指定されたものである。また、鎌倉時代末から室町時代にかけての同寺の記録を示した紙本墨書瑠璃山年録残篇（室町時代、国重文）は、地域史の史料が限られる同時代の貴重な記録である。同寺は、本尊の木造薬師如来坐像や山門に安置される木造金剛力士立像（いずれも鎌倉時代、県有形）などの彫刻、池泉観賞兼回遊式庭園である大福寺庭園（県名勝）も有する。

長楽寺（北区）は、弘法大師が大同年間（806年～810年）に創建したと伝える真言宗寺院であり、木造馬頭観音坐像（鎌倉時代か、市有形）を有する。梵鐘（鎌倉時代、県有形）は、県内でも古い嘉元3年（1305年）の銘がある。長楽寺庭園（江戸時代、



図2-4 真言宗関連文化財
（左：木造不動明王像立像（摩訶耶寺）、
右：刺繍不動明王二童子像掛幅）



図2-5 龍潭寺庭園

県名勝) は、ドウダンの庭として知られる。

また、本市が所蔵する真言宗関係文化財として刺繍不動明王二童子掛幅(国重文)があげられる。

臨済宗関連文化財 方広寺(北区)は応安4年/建徳2年(1371年)、後醍醐天皇皇子、無文元選によって開創された。現在は、臨済宗方広寺派大本山で、数多くの文化財を有する。同寺の七尊菩薩堂(室町時代、国重文)は一間社流造で、応永8年(1401年)建立の県

内最古の木造建造物である。また、同寺は22件の国登録の建造物を有する。本堂(大正時代、国登録)は、県内の寺院建築としては大規模なもので、大本山の威容を存分に示している。また、同寺の鎮守である半僧坊をまつた半僧坊真殿(明治時代、国登録)は明治14年(1881年)の大火を免れ、その後、多くの信仰を集めている。同寺は、木造釈迦如来及び両脇侍坐像(室町時代、国重文)や、開祖を描いた絹本着色無文元選像(室町時代、県有形)も所蔵する。

龍潭寺(北区)は、天平5年(733年)に行基が開創したと伝わる。室町時代末期、黙宗瑞淵を迎え禅宗に変わり、その後、江戸時代を通じて井伊氏の菩提寺として栄えた。現在は臨済宗妙心寺派に属する。入母屋造、方丈形式の本堂をはじめ、合計6棟からなる伽藍(いずれも江戸時代、県有形)が残るほか、池泉式庭園である龍潭寺庭園(江戸時代、国名勝)、中国宋時代に編纂された類書(一種の百科事典)である宋版錦繡萬花谷(平安時代、国重文)、風俗画様式で描かれた紙本金地著色遊楽図六曲屏風(江戸時代、県有形)などを有する。

実相寺(北区)は、寛永5年(1628年)、この地を治めた旗本近藤季用を開基として前身寺院から名を改められ現在に至る。現在は臨済宗方広寺派に属する。本堂、観音堂、庚申堂(江戸時代、市有形)は、禅宗寺院の伽藍の実態を伝えている。また、実相寺庭園(江戸時代、県名勝)は三岳山を借景とした枯山水庭園であり、開基墓を遥拝する位置関係にある。同様の構図は、井伊家霊屋を最奥に配する龍潭寺庭園にも見出せる。

黄檗宗関連文化財 宝林寺(北区)は、寛文4年(1664年)に、隠元とともに明から来日した弟子の独湛を招き、旗本金指近藤家の菩提寺として開創された黄檗宗寺院である。仏殿・方丈(国重文)や報恩堂(市有形)を配する伽藍は、中国明様式を伝え、境内は黄檗宗特有の雰囲気漂う。仏殿には木造釈迦如来坐像及び両脇侍像、木造達磨大師坐像・伝武帝倚像、木造二十四善神立像(いずれも江戸時代、県有形)の仏像群が安置されているほか、開祖を描いた紙本著色独湛禅師画像や、創建時の領主夫妻を描いた絹本着色近藤貞用夫妻画像(いずれも江戸時代、県有形)が伝わる。この他、市内には黄檗宗寺院の建造物として、大雄寺山門(中区、市有形)も知られる。

神社関連文化財 国・県指定の有形文化財を有する市内の神社としては、9社が挙げられる。息神社(西区)や津毛神社(南区)、宇志八幡神社(北区)が所蔵する古面や獅子頭(鎌倉～室町時代、県有形)からは現在は途絶えた祭礼の存在がうかがえる。浜名惣社神明宮本殿(北区、国重文)は切妻造茅葺、板倉、棟持柱付の建物である。高床とせず、礎石上に土台を置き、板材を積み重ねる井籠造と呼ばれるものであり、他に類例のない特殊な建築形式をもつ。秋葉神社は、全国の秋葉社の本宮であ



図2-6 秋葉神社神門



図2-7 鱈口（文永五年の銘がある）



図2-8 高根城跡



図2-9 東海道の松並木

り、火伏の信仰を広く集める。江戸時代は、秋葉大権現をまつる秋葉社と三尺坊をまつる秋葉寺が一体となった神仏習合の霊山であった。現在、秋葉神社には3口の太刀（鎌倉時代、国重文）を含む奉納刀剣が豊富に伝えられているほか、秋葉神社神門（江戸時代、市有形）や秋葉神社社叢（市天然記念物）などに江戸時代の景観をうかがうことができる。

寺院と神社双方に関連する文化財 寺社の正面軒先に吊るされた鱈口のうち、県もしくは市の有形文化財に指定されているものが、本市では18口ある。その最古例は、頭陀寺（南区）に旧蔵されていたもの（市有形）で、文永5年（1268年）の紀年が刻まれる。

県指定の天然記念物を有する寺社として、妙恩寺（法橋のまつ、東区）、大光寺（春野スギ、天竜区）、浜松八幡宮（雲立のクス、中区）、細江神社（テンダイウヤク群落地、北区）、武速神社（將軍スギ、天竜区）、山住神社（山住神社のスギ、天竜区）、米沢諏訪神社（米沢諏訪神社のイチイガシ、天竜区）などが挙げられる。將軍スギは坂上田村麻呂が、雲立のクスは源義家や徳川家康が戦勝祈願したとの伝承を持つ。

城跡関連文化財 本市域は、南北朝時代の争乱の舞台となったほか、戦国時代には今川氏、徳川氏、武田氏、豊臣氏といった有力大名が勢力争いをしており、両時代にまつわる城跡が多い。南北朝時代、後醍醐天皇の皇子宗良親王を迎えた三岳城跡（北区、国史跡）をはじめ、戦国時代、徳川家康が居城とした浜松城跡（中区、市史跡）や家康と武田信玄の攻防の舞台となった二俣城跡及び鳥羽山城跡（天竜区、国史跡）など、市内には国や県、市の史跡に指定されている城跡が16例ある。

街道関連文化財 江戸時代、本市には、東海道とその脇往還である本坂通（姫街道）が整備された。両街道沿いには、一里塚や松並木（中区、西区、北区、市史跡）が残る。市域における東海

道の宿場は浜松と舞坂^{まいさか}に置かれた。特に舞坂宿に関しては、宿場であった歴史的経緯を伝える町屋の建造物が多く残るほか、舞坂脇本陣^{わきほんじん}（西区、市有形）や浜名湖の渡船に関わる北雁木^{きたがんげ}（西区、市史跡）などが知られる。一方、市域北部では、秋葉山に至る参詣道（秋葉街道）が栄えた。秋葉街道は、青崩^{あおくずれ}峠^{とうげ}（天竜区、県史跡）を越えて信濃国に通じているほか、沿道には秋葉山への信仰を示す秋葉灯籠^{あきはとうろう}やその鞘堂^{さやどう}（竜燈^{りゅうとう}）が数多く築かれた。

庄屋・民家関連文化財 江戸時代の庄屋建築としては、中村家住宅^{なかむらけけじゅうたく}（西区、国重文）や田代家住宅^{たしろけじゅうたく}（天竜区、国登録）が知られるほか、内山家住宅長屋門（天竜区、市有形）がある。また、近世の民家では、静岡県西部地域から愛知県東部に分布する分棟型民家の典型例として、釜屋建形式の鈴木家住宅（北区、国重文）が知られている。

国学関連文化財 江戸時代、当地域では国学が盛んであった。国学の大成者とされる本居宣長の師として、当地出身の賀茂真淵^{かもまぶち}が知られ、その弟子には内山真龍^{うちやままたつ}がいる。両者に関わる文化財（県もしくは市有形）は、主に浜松市中央図書館（中区）、賀茂真淵記念館（中区）及び内山真龍資料館（天竜区）に収蔵されている。

民俗文化財 有形民俗文化財に挙げられる生業の道具として、佐久間の林業と山村生活の用具（天竜区、県有形民俗）や舞阪の海苔生産用具（西区、県有形民俗）といった中山間地域や浜名湖に関わる資料が知られる。

本市には、無形民俗文化財が豊富に認められる。その多くは、西浦の田楽^{にしうれでんがく}（天竜区、国無形民俗）や遠江のひよんどりとおくない^{とおとすみ}（北区、天竜区、国無形民俗）等の正月の田楽・田遊び系芸能、呉松の大念仏^{たあそくれまつ}（西区、県無形民俗）や滝沢の放歌踊り^{たきさわほうかおど}（北区、県無形民俗）、遠州大念仏^{えんしゅうだいねんぶつ}（各地、市無形民俗）等の盆行事、川合花の舞^{かわいはなまい}（天竜区、県無形民俗）等の花祭と呼ばれる湯立て神楽を中心とする霜月行事^{しもつき}といった年中行事に位置付けられる。これらの民俗芸能は、近隣の奥三河地域や南信州地域との共通性が見出せる。三河、遠江、南信州を合わせ「三遠南信地域」と呼び、同地域での文化、経済交流も盛んである。また、当地には横尾歌舞伎^{よこおかぶき}（北区、県無形民俗）等の農村歌舞伎も知られる。

近代の文化財 近代以降の建造物では、旧王子製紙製品倉庫^{きゅうおうじせいしせいひんそうこ}（明治時代、天竜区、県有形）のような煉瓦造の建造物のほか、旧国鉄二俣線の遺構である天竜浜名湖鉄道の施設^{てんりゅうはまなこてつどう}（昭和時代戦前期、北区、浜北区、天竜区、国登録）に鉄道関連建造物のまとまりがみられる。また、本市の中心部には、旧浜松銀行協会や旧遠州銀行本店（ともに昭和前期、中区、市有形）等の近代建築も残されている。

この他、指定物件こそみられないものの、織物、楽器、輸送機器の製造に関わる産業関係の遺産は、本市を特徴づける文化財といえるだろう。



図 2-10 西浦の田楽



図 2-11 旧王子製紙製品倉庫

表2-2 浜松市内に所在する主な国、静岡県 の指定文化財(1)

番号	種別	類型	名称	区分	所在地	所有者等
中区						
1	国指定	工芸品	刺繍不動明王二童子像掛幅	真	松城町	浜松市
2	国指定	工芸品	紫地段花菱田文散草花模様縫箔小袖	他	元浜町	平野美術館
3	国指定	史跡	蛭塚遺跡	原	蛭塚四丁目	浜松市ほか
4	県指定	絵画	蟲魚帖稿	他	松城町	浜松市
5	県指定	典籍	正平版論語	国	東伊場一丁目	県居神社
6	県指定	考古資料	伊場遺跡群出土古代地方官衙資料	原	蛭塚四丁目	浜松市
7	県指定	考古資料	鳥居松遺跡出土金銀装大刀	原	蛭塚四丁目	浜松市
8	県指定	考古資料	引佐町上野馬場平古墳出土品を含む考古資料一括	原	蛭塚四丁目	浜松市
9	県指定	史跡	犀ヶ崖古戦場	城	鹿谷町ほか	浜松市
10	県指定	天然記念物	雲立のクス	天	八幡町	浜松八幡宮
11	県指定	天然記念物	笹ヶ瀬隕石	自	北寺島町	増福寺
東区						
12	県指定	彫刻	木造大日如来坐像	臨	大蒲町	光禪寺
13	県指定	天然記念物	法橋のマツ	天	天竜川町	妙恩寺
西区						
14	国指定	建造物	中村家住宅 附家相図	家	雄踏町宇布見	浜松市
15・16	県指定	彫刻	古面／獅子頭	社	雄踏町宇布見	息神社
17	県指定	無形民俗	呉松の大念仏	民	呉松町	—
18	県指定	有形民俗	舞阪の海苔生産用具	民	舞阪町舞阪	浜松市
19	県指定	名勝	浜名湖	自	—	—
南区						
20	県指定	彫刻	王の舞面	社	参野町	津毛利神社
北区						
21	国指定	建造物	方廣寺七尊菩薩堂	臨	引佐町奥山	方廣寺
22	国指定	建造物	宝林寺仏殿・方丈	黄	細江町中川	宝林寺
23	国指定	建造物	浜名惣社神明宮本殿	社	三ヶ日町三ヶ日	浜名惣社神明宮
24	国指定	建造物	鈴木家住宅主屋・釜屋	家	引佐町の場	個人
25	国指定	絵画	絹本着色普賢十羅刹女像	真	三ヶ日町福長	大福寺
26	国指定	彫刻	木造千手観音立像	真	三ヶ日町摩訶耶	摩訶耶寺
27	国指定	彫刻	木造不動明王立像	真	三ヶ日町摩訶耶	摩訶耶寺
28	国指定	彫刻	木造釈迦如来及両脇侍坐像	臨	引佐町奥山	方廣寺
29	国指定	工芸品	金銅装笈	臨	三ヶ日町福長	大福寺
30	国指定	古文書	紙本墨書瑠璃山年録残篇	臨	三ヶ日町福長	大福寺
31	国指定	典籍	宋版錦繡萬花谷(金沢文庫本)	臨	引佐町井伊谷	龍潭寺
32	国指定	無形民俗	遠江のひよんどりとおくない	民	引佐町川名、渋川	—
33	国指定	史跡	三岳城跡	城	引佐町三岳ほか	静岡県ほか
34	国指定	名勝	龍潭寺庭園	臨	引佐町井伊谷	龍潭寺
35	県指定	建造物	龍潭寺伽藍	臨	引佐町井伊谷	龍潭寺
36	県指定	建造物	宝林寺山門	黄	細江町中川	宝林寺
37	県指定	建造物	撰社天羽槌雄神社	社	三ヶ日町三ヶ日	浜名惣社神明宮
38	県指定	絵画	絹本着色無文元選像	臨	引佐町奥山	方廣寺
39	県指定	絵画	紙本金地著色遊楽図六曲屏風	臨	引佐町井伊谷	龍潭寺
40	県指定	絵画	紙本着色独湛禪師画像	黄	細江町中川	宝林寺
41	県指定	絵画	絹本着色近藤貞用(語石)夫妻画像	黄	細江町中川	宝林寺
42	県指定	彫刻	木造釈迦如来坐像	寺	三ヶ日町日比沢	華藏寺
43・44	県指定	彫刻	木造金剛力士立像／木造薬師如来坐像	真	三ヶ日町福長	大福寺
45・46	県指定	彫刻	木造阿弥陀如来坐像／木造金剛力士立像	真	三ヶ日町摩訶耶	摩訶耶寺
47	県指定	彫刻	木造釈迦如来坐像及び両脇侍像 木造達磨大師坐像・伝武帝倚像 木造二十四善神立像	黄	細江町中川	宝林寺
48・49	県指定	彫刻	能面父尉／能面鉢巻悪尉	社	三ヶ日町宇志	宇志八幡宮
50	県指定	工芸品	梵鐘	真	細江町気賀	長楽寺

表2-3 浜松市内に所在する主な国、静岡県 の指定文化財(2)

番号	種別	類型	名称	区分	所在地	所有者等
北 区						
51	県指定	考古資料	銅鐸(猪久保出土)	原	三ヶ日町三ヶ日	浜松市
52	県指定	考古資料	銅鐸(前原遺跡出土)	原	細江町気賀	浜松市
53	県指定	考古資料	銅鐸(滝峯才四郎谷遺跡出土)	原	細江町気賀	浜松市
54	県指定	有形民俗	旧山瀬家のコヤ(産屋)	民	細江町気賀	浜松市
55	県指定	無形民俗	滝沢の放歌踊	民	滝沢町	—
56	県指定	無形民俗	横尾歌舞伎	民	引佐町横尾	—
57	県指定	史跡	渭井神社境内遺跡(天白磐座遺跡)	原	引佐町井伊谷	浜松市
58	県指定	史跡	陣座ヶ谷古墳	原	細江町中川	個人
59	県指定	史跡	滝峯才四郎谷遺跡	原	細江町中川	浜松市
60	県指定	史跡	千頭峯城跡	城	三ヶ日町摩訶耶	地縁団体
61	県指定	名勝	実相寺庭園	臨	引佐町金指	実相寺
62	県指定	名勝	長楽寺庭園	臨	細江町気賀	長楽寺
63	県指定	名勝	摩訶耶寺庭園	真	三ヶ日町摩訶耶	摩訶耶寺
64	県指定	名勝	大福寺庭園	真	三ヶ日町福長	大福寺
19	県指定	名勝	浜名湖	自	—	—
65	県指定	天然記念物	テンダイウヤク群落地	天	細江町気賀	細江神社
66	県指定	天然記念物	シブカワツツジ群落	自	引佐町渋川	浜松市ほか
67	県指定	天然記念物	鶴代のマンサク群落	自	三ヶ日町鶴代	個人
浜北区						
68	国指定	彫刻	木造地藏菩薩立像 附像内納入品	真	根堅	岩水寺
69	国指定	天然記念物	北浜の大カヤノキ	自	本沢合	個人
70	県指定	考古資料	赤門上古墳出土遺物	原	貴布祢	浜松市
71	県指定	史跡	二本ヶ谷積石塚群	原	染地台五丁目ほか	浜松市
72	県指定	史跡	赤門上古墳	原	内野	龍泉院
天竜区						
73-75	国指定	工芸品	太刀 銘安繩/銘弘次/銘来国光 3口	社	春野町領家	秋葉神社
76	国指定	無形民俗	西浦田楽	民	水窪町奥領家	—
32	国指定	無形民俗	遠江のひよんどりとおくない	民	懐山	—
77	国指定	史跡	二俣城跡及び鳥羽山城跡	城	二俣町二俣	浜松市ほか
78	国指定	史跡	光明山古墳	原	山東	浜松市ほか
79	国指定	天然記念物	京丸のアカヤシオ及びシロヤシオ群生地	自	春野町気田	国
80	県指定	建造物	旧王子製紙製品倉庫	近	春野町気田	浜松市
81	県指定	工芸品	鰐口	鰐	春野町宮川	八坂神社
82	県指定	書跡	紙本墨書大般若経	寺	春野町宮川	大智寺
83	県指定	古文書	内山真龍自筆稿本遠江国風土記伝及び自筆日	国	大谷	個人
84	県指定	有形民俗	藤布織機一式及び製品一括	民	水窪町地頭方	浜松市
85	県指定	有形民俗	染め型紙一括	民	水窪町奥領家	個人
86	県指定	有形民俗	佐久間の林業と山村生活の用具	民	佐久間町佐久間	浜松市
87	県指定	無形民俗	川合花の舞	民	佐久間町川合	—
88	県指定	無形民俗	西浦の念仏踊	民	水窪町奥領家	—
89	県指定	史跡	犬居城跡	城	春野町堀之内	地縁団体
90	県指定	史跡	青崩峠	道	水窪町奥領家	浜松市
91	県指定	天然記念物	ハウジ峠の中央構造線	自	佐久間町佐久間ほか	個人
92	県指定	天然記念物	將軍スギ	天	横川	武速神社
93	県指定	天然記念物	柴のタブノキ	自	熊	個人
94	県指定	天然記念物	春莖スギ	天	春野町花島	大光寺
95	県指定	天然記念物	浦川のホソバシヤクナゲ群落	自	佐久間町浦川	個人
96	県指定	天然記念物	龍山のホソバシヤクナゲ群落	自	龍山町瀬尻	国
97	県指定	天然記念物	山住神社のスギ	天	水窪町山住	山住神社
98	県指定	天然記念物	水窪小学校のイチイガシ	自	水窪町奥領家	浜松市
99	県指定	天然記念物	米沢諏訪神社のイチイガシ	天	米沢	米沢諏訪神社

区分凡例 自：自然に関連する文化財、原：原始古代に関連する文化財、真・臨・黄・寺・社・鰐・天：寺社関連文化財(真：真言宗、臨：臨濟宗、黄：黄檗宗、寺：その他宗派寺院、社：神社関連、鰐：鰐口、天：寺社関連天然記念物の各文化財)、城：城跡関連文化財、道：街道関連文化財、家：庄屋・民家関連文化財 国：国学関連文化財、民：民俗文化財、近：近代の文化財、他：その他